

開かれた議会を目指して初の

議会報告会を開催

2会場で約 160 人が参加



文化センター会場には107名が参加（写真上）



公民館国分分館（国分出張所 3 階）
会場には 51 名が参加（写真右）

柏原市議会では、議会改革の一環として、市民に開かれた議会を目指し、去る 8 月 6 日(金)文化センターと公民館国分分館において、初の議会報告会を開催しました。

この報告会は、市民の皆さんに 6 月議会の活動内容等について報告・説明を行うとともに、議会活動に対する意見をお聴きするため開催しました。

なお、報告会の内容は、はじめに議会の活動状況、6 月議会で審議した内容などを説明し、その後、質疑応答・アンケートの時間を設けました。

主なアンケート結果は、2 ページに記載しています。

6 月議会で審議した内容の報告として下記のことを報告しました。

報告者①

◎国民健康保険料条例の一部改正内容と国民健康保険事業特別会計補正予算について

報告者②

◎21年度児童手当と22年度の子ども手当について

◎市内循環バスの事故事案について

◎国分中学校の通学路の改良改修事業の内容について

報告者③

◎柏原市内防犯灯のLED化推進について

◎日本脳炎予防接種委託料について

◎大和川を横断している弁天橋改修工事関連について

議会報告会に対する

アンケート調査結果

議会報告会に対するアンケート調査を実施し、以下のようなお答えをいただきました。

—— たくさんのご意見をいただきました。その一部をご紹介します。 ——

○もう少し市民の意見を取り入れる場を作りたい。

○専決処分が多すぎる。

○定期的に開催すべし。今までやっていることがおかしい！市民の質問時間を十分とするように！

○市民にわかりやすい報告をしてほしい。

○市立柏原病院の赤字の対策

○「見張り番」チラシについての対処

○循環バスの将来をどうするのか。

○議員数が多いと思う。

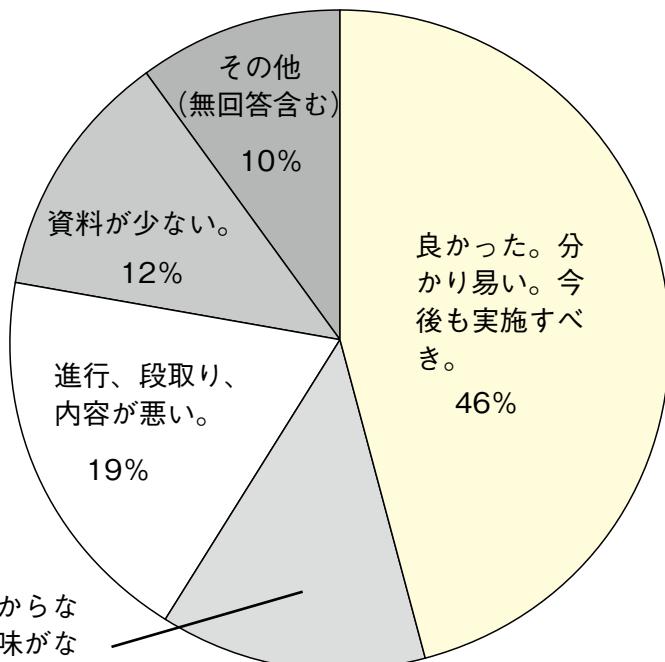
○議員数の減には反対である。市民の窓口となるように

○国民健康保険の財源の問題をどうするか。

○柏原市の借金を増やさないためには、どうしたらよいか。

○カーブミラーの増設、子宮頸がん予防ワクチン接種への公費助成を

議会報告会に対するご意見



議 会 日 誌	平成 22 年 (2010年)	建設産業委員会現地視察
幹事長会議	15日	議会報告会全体会
農業委員会	12日	大阪府市議会議長会総会・研修会
市議会だより編集委員会	8日	議会報告会
土地開発公社役員会	6日	農業委員会
幹事長会議	4日	議会運営委員会
農業委員会	1日	議会運営審議会
市議会だより編集委員会	10月30日	定例本会議(議案説明)
建設産業委員会	29日	農業委員会
幹事長会議	28日	議会運営委員会
市議会だより編集委員会	27日	定例本会議(議案質疑・一般質問)
建設産業委員会	22日	定例本会議(議案質疑・一般質問)
幹事長会議	21日	農業委員会
市議会だより編集委員会	10月30日	定例本会議(議案質疑・一般質問)
総務文教委員会	20日	議会改革特別委員会
市議会だより編集委員会	30日	幹事長会議
幹事長会議	12日	議会報告会全体会

議員定数条例の改正に対する

議員報酬等に関する条例の改正に対する

贊成討論

反對討論

贊成討論

反對討論

現在 社会の多くの分野で改革が行われている。市内の民間企業といふ企業は、何らかの形で改革を行ひ、経営努力をされている。本市においても、市長が先頭に立ち、聖域なき改革を推進し、厳しい財政状況の中、市民を望に応えるため努力をされている。

今回提案のあつた議案第4号は議員定数を18名から15名に削減するもので、市民ら千人に議員1人と算定されており、妥当な議員定数と考えられる。

現在の社会情勢を踏まえ、議会も市民から議員の定数や報酬を削減すべきとの声が上がっているときには、議員として民意を真摯に受け止め、痛みの伴う改革を行うべきである。

議員定数を削減すると、議会機能や権限が弱くなると言われているが、これは定数の問題だけではなく、むしろ議員個人の資質の問題であり、議員一人一人が責任のある行動をとり、研さんを積んでいけば、行政へのチェック機能は十分發揮できると思う。

以上の観点から、私は議案第44号柏原市議会議員定数条例の一部改正について賛成するものである。

平成17年9月29日までの間、議会自らが報酬を削減したように、痛みを伴う改革を行うのが、多くの市民から信託を受けた議員としての役目であると考える。

1)の議案第45号議会の議員の報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について賛成するものである。

てしたがなければならぬ。その結果を議論し、市民にとって、歳費にふさわしくない柏原市議会であるところの結論に至つたならば、議員田代が歳費を削減していくものである。

今議会に提案された議案第45号議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正についてでは、昨今の社会情勢を鑑みると長らく不況の中、市民生活を取り巻く環境は非常に厳しく、市民の暮らしを守るため、議員報酬の削減を行つべきであると思つ。

一部の議員から、市長と議会とという二元代表制では、議員定数の削減や報酬の削減は、市長が提案するべきではないとの意見もあるが、それなりに市民の中から上げつてこる報酬削減の声を聞き、議会の審議すべきものである。

以前、議員報酬の削減について市長から提案され、否決となつたしかし、理事者は給与を削減し、また、職員の給与も地域手当のカットなどで削減されていの」とを考えると、平成15年1月1日から平成17年9月29日までの間、議会自らが報酬を削減したように痛みを伴う改革を行うのが、多くの市民から信託を受けた議員としての役目であると考える。

この議案第45号議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について賛成するもの

第1の反対理由は、今回の提案のしかたは、二元代表制を否定して、議会制民主主義を踏みにじる暴華であるからである。市長が監視機能を弱めるために、議員の待遇問題を相談もなしに一方的に出すやり方は許されるものではない。もちろん、議員の歳費をはじめ、議会費の削減に努めるのは当然のことである。柏原市議会として昨年とある。財政事情を考慮し、議員の政務調査費を7万円から4万円に削減し、また期末手当での加算率を20%から10%に減額したばかりである。これは、大阪府下33市の中で一番の減額率である。

市長から提案され、否決となつた
しかし、理事者は給与を削減し
また、職員の給与も地域手当の
カットなども削減されていく」と
を考えると、平成15年1月1日か
ら平成17年9月29日までの間、議
会自らが報酬を削減したように
痛みを伴う改單を行うのが、多く
の市民から信託を受けた議員との
ての役目であると考えられる。

第2の理由は、歳費にふさわしい仕事や役割を果たすための議会改革を、1年かけて行っている途中であるからである。与えられた後3年間で、市民に信頼される議会になるためには、議会・議員の本来の役割が發揮できるように質的向上を図り、頑張って取り組んでいかなければならない。その結果を議論し、市民にとって、歳費にふさわしくない柏原市議会であるところの結論に至ったならば、議員自らが歳費を削減していくものである。

関電道路の

大型自動車通行規制について

規制について 柏原維新の会

通行規制されている通称関電道路を、最近、大型自動車（ダンプカー）が通行しているが、どのような状況になっているのか。

市長から【議員定数の削減】
18人から15人(3人減)を提案

公明黨

問 今回、市長から「議員定数」を現在の18人から15人（3人減）を提案した理由を問う。

答 昨年3月の第1回定例会

(二)の時も市長から「議員定数」を18人から16人に2人減を提案。以後の市民の声、本年3月末の行

柏原市まちづくり 戦略会議議長について

市民の会

問 中司議長の現在までの成果

答 まちづくり戦略会議は平成21年12月に設置され、「柏原市の夢のあるまちづくりの実現に関する」と「効率的な行財政運営に関する」と「小さくてもきらりと関すること」で、今後の処遇について問ふ。



関電道路を通行する大型自動車

激しくなった」とから、沿道の環境を守るため、3トン以上の車両の通行規制がかかり現在に至っています。

当道路を新たに大型自動車が通行する場合は、警察署の通行許可を受けてはじめて通行が可能となる。

通行時間帯については、午前の時から午後5時と聞いている。市としては、早朝や土日の通行につ

問 市に対して、残土を運搬する大型自動車（ダンプカー）の通行を許可するような申請は出されているのか。

答 現在、東山地区において事業者からの申請箇所は8箇所ある。そのルートについては、この関電

いては、パトカーによるパトロールの強化や通行違反の取締りを柏原警察署にお願いしているところである。

の強化に努める。
要望 市で認めていないルートをなぜ警察署が許可するのか。地元住民の意向を無視した許可に対する

し、道路管理者である市は意見が
言えないのか。通学路でもあり、
早急に対策を講じられたい。



議場の風景

議員定数を行財政改革の視点だけではなく、市政の現状と将来の予測を十分考慮し、さらに市民の意見を聴取するため、参考人制度や公聴会制度を十分活用して決定する所とされています。本市におこしても、市民の方々の幅広い意見をよく聞いて、審議する(仮)検討会を設け苦しい財政状況の中で議会としてまず何をすべきか、また議員の定数等も含めて検討していきたい。

原市民のために仕事をしていただいた中司議長に失礼である。責任はいつでも取る。

原市民のために仕事をしていただいている中司議長に失礼である。責任はいつでも取る。

要望 戰略そのものは長期であるため、1年で成果を出すことは難しいのはわかっている。中司議長個人の知識と経験について否定しているのではない。離職された市民の方の中から、キャリアのある方を選び、その方に市民の税金である報酬を支払うのが理想である

学校・幼稚園に

クーラー設置を

日本共産党

問 各学校・園での現在のクーラー設置状況と新学期が始まってからの熱中症対策について問う。

答 クーラー設置状況は、校長室、園長室、保健室、職員室、支援教室、コンピュータ室等に設置しているが、財政状況を勘案して、

まず幼稚園の遊戯室を検討する。熱中症対策は、水分補給や運動場にテントを張って日陰を作ったり、頻繁に散水したり、体育館に

業務用の大型扇風機を設置している。

問 近隣市の幼稚園遊戯室のクーラー設置状況を問う。

答 八尾市・羽曳野市・大阪狭山市・藤井寺市・松原市・河内長野市で設置されている。

要望 中学校は弁当持参で、運動クラブは朝練もしている。長時間気温の高いところに弁当を置くのは心配である。今後検討されたい。また、体育祭の練習も行われている。引き続き熱中症への配慮をされたい。

大阪府下でみると高槻市・大東市・門真市では小・中学校すべての教室にクーラーが設置され、また、豊中市・東大阪市・高石市・

田尻町では中学校のすべての教室に設置されている。

学校現場から、夏の補習などで暑すぎて子どもが集中しない、図書室にクーラーを設置してほしい、音楽室に設置してほしい、教室は蒸し風呂状態で午後からは授業にならない等切実な声を聞いている。

今年は梅雨明けから気温が高く猛暑日が続き、そして、9月に入

ても35度を超す日が何日もあつた。また地球温暖化が進む中、今後も気温の上昇が予想される。

本来子ども達が学校生活で一番長い時間を過ごす教室に設置してほしい。近隣の藤井寺市・八尾市・羽曳野市では設置されているが、年齢も小さく一番体力のない子どもの通う幼稚園の遊戯室に来年度是非ともクーラーを設置するよう要望する。

大和川親水公園の今後の整備について

自由民主党政新会

問 大和川親水公園整備事業の整備計画および進捗状況について問う。

答 大和川親水公園の上流側の河川敷（堤外民有地）に残っていた建物の除去作業が完了し、平成14年から国、府、市の三者が連携し



大和川親水公園のイメージ図

て取り組んできた用地買収も全体で177件に上る権利者の理解と協力のもとですべて完了した。国の大和川河川事務所において、現在、最後まで残っていた建物跡地付近の土壤調査を行っている。その結果で、汚染物質があれば、撤去作業が行われる。また、11月初旬から再築堤に着手し、平成22年度中に国事業の工事は全て完了する」と聞いている。計画内容および

進捗状況は、国からのまちづくり交付金を活用し、平成22年度から24年度にかけて約3・2ヘクタールの公園整備をするもので、本年度は国事業の工事と並行し、緑化プロジェクトによる駐車場を上・下流の2か所に合計85台分を整備する予定である。平成23年度は芝生広場、ジョギングや散歩ができる園路、防災機能を持つイベント広場・健康歩道を設置し、そして、平

問 現在の乳幼児健診の状況を問う。

答 柏原市立保健センターでは、4ヶ月児健診をはじめに3種類の健診を毎月2回、午後1時半から実施している。受付、問診その他9カ所の部屋が必要となる。駐車

場の確保にしても保健センターは、これらの問題をすべてクリアしている。

問 1回の健診の参加者数を問う。

答 4ヶ月健診の場合、昨年度575名、月に2回行っているので1回の平均数は25名程度である。

要望 先日7月22日の柏原地域保健医療協議会で「国分地域での乳幼児健診」の実施をお願いした。

また、実際に健診を見せていただいた。とてもいい環境の中で理想的な状況であった。ベビーカーが邪魔にならない所に数台並べられ、受付から健診がスムーズに受けられ、待合や心配ごとの相談もプライバシーが守られていた。フロアには、子どもを寝かせて輪になり、ボランティアが読み聞かせをする部屋もあって、いろいろな配慮がなされていた。場所的には国分

出張所や国分図書館で健診を受けられるよう是非検討していただきたい。先日、健診の場に立ち会つて、このような理想的ではなくとも、可能ではないかと思う。

1人目の子どもは楽であるが、2人目、3人目になると大変負担がかかる。少子化対策のためにも子育てしやすいベースをつくりたいいただきたい。国分地区で乳幼児健診が受けられるようこそ要望する。

成24年度には親水護岸整備とトイレの設置を予定している。

問 平成23年度に一部完成するが、その場所は供用できるのか。

答 工事を実施しない日であれば、完成部分の使用は可能である。

問 片山地区の用地買収状況は、

答 全体面積の58%の契約率となり今後努力していく。

要望 今後とも事業進捗に努力をお願いする。



健診の待合室の様子

議会・委員会の構成

議長	寺田 悅久 (てらだ よしひさ)	副議長	山下 亜緯子 (やました あいこ)	監査委員	中村 保治 (なかむら やすはる)
----	---------------------	-----	----------------------	------	----------------------

				総務文教委員会 ◇市長公室 ◇総務部 ◇財務部 ◇市民生活部（市民課 ・人権推進課） ◇会計管理室 ◇教育委員会 ◇まちづくり部 に関するこ
				
寺田 悅久 (てらだ よしひさ) 総務文教委員会 建設産業委員会	中村 保治 (なかむら やすはる) 総務文教委員会 市民福祉委員会	奥山 渉 (おくやま わたる) 市民福祉委員会 建設産業委員会	山本 真見 (やまもと まみ) 市民福祉委員会 建設産業委員会	
				市民福祉委員会 ◇健康福祉部 ◇市民生活部（保険年 金課・環境保全課） ◇市立柏原病院および 診療所 に関するこ
乾 一 (いぬい はじめ) 市民福祉委員会 ◎建設産業委員会	計盛 佐登子 (かずもり さとこ) 市民福祉委員会 建設産業委員会	大坪 教孝 (おおつぼ のりたか) 総務文教委員会 市民福祉委員会	田中 秀昭 (たなか ひであき) 市民福祉委員会 建設産業委員会	
				
中野 広也 (なかの ひろや) 総務文教委員会 市民福祉委員会	堅木 照久 (かたぎ てるひさ) 総務文教委員会 ◎建設産業委員会	山下 亜緯子 (やました あいこ) 総務文教委員会 建設産業委員会	濱浦 佳子 (はまうら よしこ) ○市民福祉委員会 建設産業委員会	建設産業委員会 ◇市民生活部（産業振 興課） ◇都市整備部 ◇上下水道部 に関するこ
一年間よろしく お願いいいたします。 ◎は委員長、○は副委員長				
		竹田 清一 (たけだ きよかず) ○総務文教委員会 建設産業委員会	橋本 満夫 (はしもと みつお) 総務文教委員会 市民福祉委員会	

議会運営会

委員長
中野 広也

副委員長
大坪 教孝

濱浦 佳子 橋本 満夫 堅木 照久
鶴田 将良 乾 一

特別委員会等

広域行政特別委員会	委員長 中村 保治	副委員長 竹田 清一	石橋 實 田中 秀昭 奥山 渉 大坪 教孝 中野 広也
交通対策特別委員会	委員長 計盛佐登子	副委員長 岸野友美子	石橋 實 山本 真見 奥山 渉 藤森 洋一 乾 一
まちづくり特別委員会	委員長 竹田 清一	副委員長 大坪 教孝	山本 真見 田中 秀昭 濱浦 佳子 岸野友美子 堅木 照久
議会改革特別委員会	委員長 奥山 渉	副委員長 橋本 満夫	田中 秀昭 藤森 洋一 中村 保治 計盛佐登子 鶴田 将良 乾 一
決算特別委員会	委員長 中野 広也	副委員長 計盛佐登子	濱浦 佳子 橋本 満夫 大坪 教孝 鶴田 将良 乾 一
市議会だより編集委員会	委員長 山下 亜緯子	副委員長 岸野友美子	山本 真見 田中 秀昭 濱浦 佳子 奥山 渉 計盛佐登子

議会選出の派遣議員・委員

東部大阪治水対策促進議会協議会委員	橋本 満夫 奥山 渉 堅木 照久
大和川右岸水防事務組合議会議員	藤森 洋一
八尾市柏原市火葬場組合議会議員	石橋 實 田中 秀昭 大坪 教孝 鶴田 将良
長瀬川沿岸下水道組合議会議員	竹田 清一 中野 広也
柏原羽曳野藤井寺消防組合議会議員	奥山 渉 中村 保治 乾 一 中野 広也
柏羽藤環境事業組合議会議員	山本 真見 大坪 教孝 竹田 清一 堅木 照久 鶴田 将良
藤井寺市柏原市学校給食組合議会議員	田中 秀昭 橋本 満夫 岸野友美子 藤森 洋一 計盛佐登子
柏原市都市計画審議会委員	濱浦 佳子 橋本 満夫 奥山 渉 竹田 清一 計盛佐登子
民生委員推薦会委員	岸野友美子 寺田 悅久
国民健康保険運営協議会委員	岸野友美子 大坪 教孝 中村 保治 中野 広也
地域保健医療協議会委員	岸野友美子 寺田 悅久
柏原市民文化会館市民劇場委員会委員	岸野友美子 乾 一
公民館運営審議会委員	石橋 實 田中 秀昭
図書館協議会委員	濱浦 佳子 中村 保治
柏原市土地開発公社顧問	山本 真見 大坪 教孝 藤森 洋一 計盛佐登子 鶴田 将良 寺田 悅久 乾 一

9月議会で決めたこと

- ◇教育委員会委員（古川利章氏）の任命につき同意を求めることについて 以上、同意
- ◇専決処分報告（損害賠償の額の決定及び和解について）について
- ◇専決処分報告（損害賠償の額の決定及び和解について）について
- ◇専決処分報告（損害賠償の額の決定及び和解について）について
- ◇平成21年度決算に基づく柏原市健全化判断比率の報告について
- ◇平成21年度決算に基づく柏原市資金不足比率の報告について 以上、報告
- ◇大阪広域水道企業団の設置に関する協議について
- ◇平成22年度柏原市一般会計補正予算（第4号）
- ◇平成22年度柏原市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ◇平成22年度柏原市一般会計補正予算（第5号） 以上、原案可決

- ◇柏原市議会議員定数条例の一部改正について
- ◇議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について 以上、原案否決
- ◇平成21年度柏原市一般会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市国民健康保険事業特別会計（施設勘定堅上診療所）歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市柏原駅西口地区市街地再開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市市立柏原病院事業決算の認定について
- ◇平成21年度柏原市水道事業決算の認定について 以上、閉会中継続審査

編集後記

紅葉の美しい季節になり、第一五六号をお届けします。今回、かしわら市議会だよりづくりに努め、議会が発信する情報がこれまで以上に、市民の皆様にとりまして、有益な内容となるよう私たちも日々研さんし、改善に取り組んでまいります。市民の皆様の積極的なご意見をお待ちしています。

意見書
○柏原市放課後児童会の改善について
○子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書
○議員定数削減の中止を求める要望
（以上の陳情は、理事者送付となりました）
（以上の陳情は、河内の地方政治をよくする会よりなりました）



富士電線工業(株)にて



岡村製油(株)にて

委員会現地視察（市内企業訪問）を行いました

建設産業委員会が視察のため、7月29日に富士電線工業株式会社、9月30日に岡村製油株式会社を訪問しました。両社におかれましては、お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。今後ますますのご発展をお祈りいたします。

第4回定例会（予定）

月 日	会 議 名	内 容
11月30日(火)	本 会 議	議 案 説 明
12月13日(月)	本 会 議	個 人 質 疑 ・ 質 問
14日(火)	本 会 議	個 人 質 疑 ・ 質 問
16日(木)	総務文教委員会	付 託 議 案 審 査
17日(金)	市民福祉委員会	付 託 議 案 審 査
20日(月)	建設産業委員会	付 託 議 案 審 査
24日(金)	本 会 議	各委員長報告・採決

※いづれの会議も午前10時からです。※日程は変更する場合があります。

○山下重緯子
○浜浦佳子
○奥山秀昭
○岸野友美子
○山本真見
○豊田登子
○山本登子
○奥山秀昭
○は委員長
○は副委員長

決算特別委員会を開会します

平成22年11月4日(木)・5日(金)に決算特別委員会を開会します。この特別委員会では平成21年度の各会計の歳入歳出決算を審査します。

(開会はいづれも午前10時、傍聴できます。)